

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和 8 年 8 月 2 6 日 (水)
感 染 症 対 策 セ ン タ ー
(衛 生 環 境 研 究 所)

令和8年第27週から第31週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

今回(27週～31週)5週 (R8. 6. 29 ～ R8. 8. 2)	前回(22週～26週)5週 (R8. 5. 25 ～ R8. 6. 28)	前々回(17週～21週)5週 (R8. 4. 20 ～ R8. 5. 24)
1 手足口病 (628) [↑ 407]	1 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (477)	1 感染性胃腸炎 (693)
2 新型コロナウイルス感染症 (485) [↑ 331]	2 感染性胃腸炎 (456)	2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (590)
3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (342) [↓ 135]	3 手足口病 (221)	3 新型コロナウイルス感染症 (92)
4 感染性胃腸炎 (312) [↓ 144]	4 新型コロナウイルス感染症 (154)	4 インフルエンザ (42)
5 ヘルパンギーナ (124) [↑ 74]	5 ヘルパンギーナ (50)	5 RS ウイルス感染症 (31)
その他 (94) [↓ 25]	その他 (119)	その他 (76)
(合計 1,985)	(合計 1,477)	(合計 1,524)

※急性呼吸器感染症(ARI) 定点 29、小児科定点 19、眼科定点 5、基幹定点 5 からの報告数である。
※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

増加した疾病	減少した疾病
新型コロナウイルス感染症 215%	感染性胃腸炎 32%
手足口病 184%	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 28%
ヘルパンギーナ 148%	

3 急性呼吸器感染症(ARI)*報告数

第 27 週から第 31 週の患者報告数は、6,864 件であった。

※急性呼吸器感染症(ARI) とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

4 コメント

【手足口病】

8月19日に県内全域の警報を解除しましたが、患者報告が一定数続いており、集団発生事例も発生しています。飛沫や手指を介して感染し、便にもウイルスが排出されます。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前の手洗いの徹底、換気などの感染予防をお願いします。

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

8月19日に県内全域の警報を解除しましたが、引き続き手洗い、消毒、咳エチケット等の感染予防をお願いします。また、まれに A、B、G 群等の溶血性レンサ球菌の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行する「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」になることがあります。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する場合があるため、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。

【麻しん】

現在、県内での発生はありませんが、全国では外国での感染が疑われる事例のほか、海外渡航歴のない事例も含め、患者数が過去10年で最多の2019年に次ぐ報告数となっています。発熱や眼の充血、全身の発しんなどがある場合は、事前に医療機関に連絡の上受診しましょう。麻しんの免疫を持っているけれども不十分な人が感染した場合、症状が軽症で麻しんと気づきにくいこともあるため、注意が必要です。

予防にはワクチンの2回接種が有効です。定期接種（対象：1歳児（第1期）、小学校就学前の1年間の幼児（第2期））は必ず受けましょう。また、2回接種が未了の方などで、海外への渡航を予定している方、0歳児や妊婦の同居者等を対象に、令和8年4月より保健所で無料の抗体検査を開始しました。検査により麻しんに対する免疫が十分かどうかわかります。詳しくは各保健所にご相談ください。

令和8年第27週～第31週の報告患者数

区 分		今回報告患者数 第27週～第31週(5週分)					前回報告患者数 第22週～第26週(5週分)				前々回報告患者数 第17週～第21週(5週分)				前回比 増 減	令和8年 患者数 累 計
		東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
		(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
急性呼吸器感染症(ARI)定点数		(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1	インフルエンザ	0	1	3	4	2	0	1	1	2	13	14	15	42	100%	5,672
2	新型コロナウイルス感染症	126	123	236	485	331	29	48	77	154	13	57	22	92	215%	1,332
小児科定点数		(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3	咽頭結膜熱	5	8	1	14	-23	22	12	3	37	15	9	0	24	-62%	132
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	215	19	108	342	-135	287	39	151	477	302	89	199	590	-28%	3,105
5	感染性胃腸炎	178	83	51	312	-144	286	79	91	456	418	146	129	693	-32%	3,024
6	水痘	12	0	7	19	4	3	11	1	15	14	7	0	21	27%	122
7	手足口病	310	139	179	628	407	51	44	126	221	0	1	3	4	184%	863
8	伝染性紅斑	0	0	1	1	-4	3	0	2	5	3	0	3	6	-80%	51
9	突発性発疹	5	2	7	14	-6	8	3	9	20	4	4	5	13	-30%	88
10	ヘルパンギーナ	11	65	48	124	74	2	8	40	50	0	0	0	0	148%	175
11	流行性耳下腺炎	1	1	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	—	5
12	RSウイルス感染症	20	0	8	28	-4	17	1	14	32	18	3	10	31	-13%	270
眼科定点数		(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
14	流行性角結膜炎	6	0	1	7	5	2	0	0	2	2	0	0	2	250%	17
基幹定点数		(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	-2	1	0	1	2	0	0	2	2	-100%	9
16	無菌性髄膜炎	1	0	1	2	0	1	0	1	2	1	0	0	1	0%	11
17	マイコプラズマ肺炎	0	2	0	2	0	2	0	0	2	2	1	0	3	0%	46
18	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1
19	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1

※中部の基幹定点は小児科定点と共通のため、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の件数は感染性胃腸炎の内数となります。

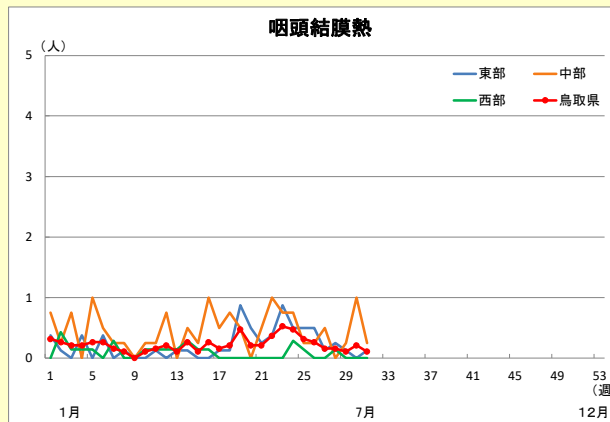
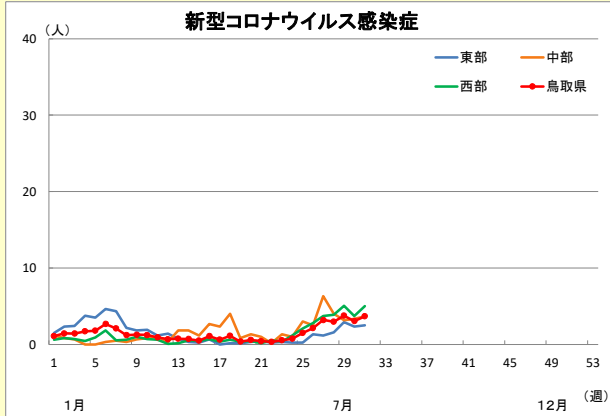
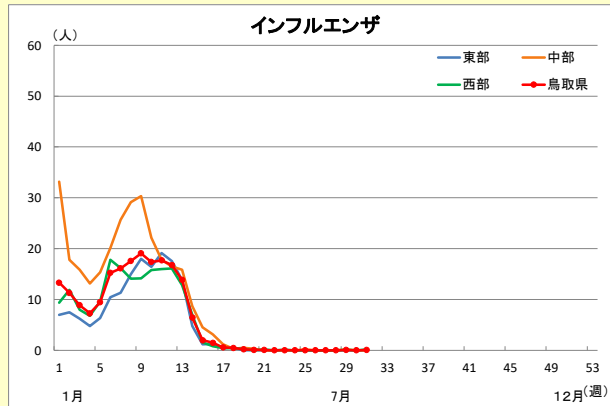
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
20 急性呼吸器感染症(ARI)	2,574	1,697	2,593	6,864	417	2,692	1,478	2,277	6,447	2,825	1,885	2,229	6,939	6%	46,417

※急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに上記の他疾病で診断された場合、両方に報告されています。

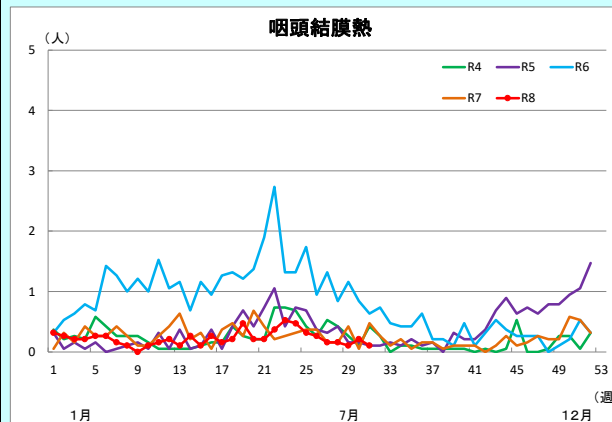
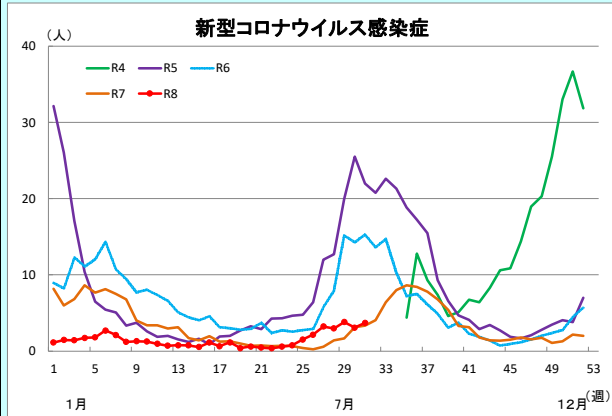
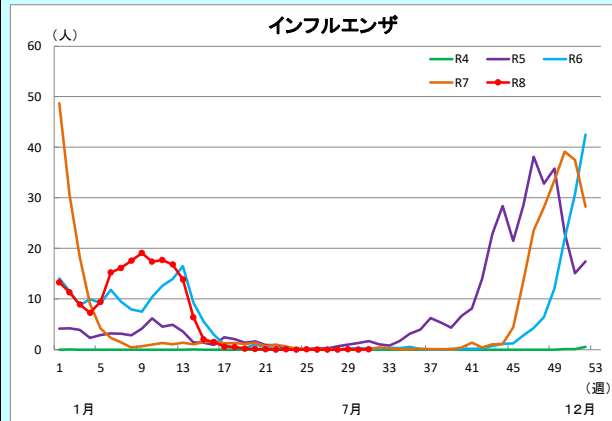
合 計	3,464	2,140	3,245	8,849	925	3,406	1,724	2,794	7,924	3,630	2,216	2,617	8,463	12%	61,341
-----	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	--------

※令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)が追加され、「インフルエンザ/COVID-19定点」は「急性呼吸器感染症(ARI)定点」に変更されました。

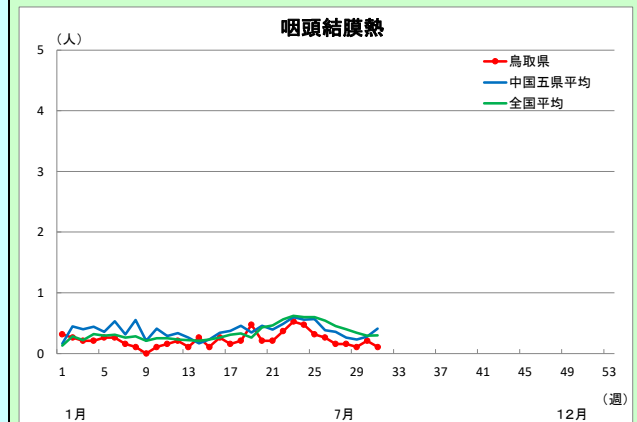
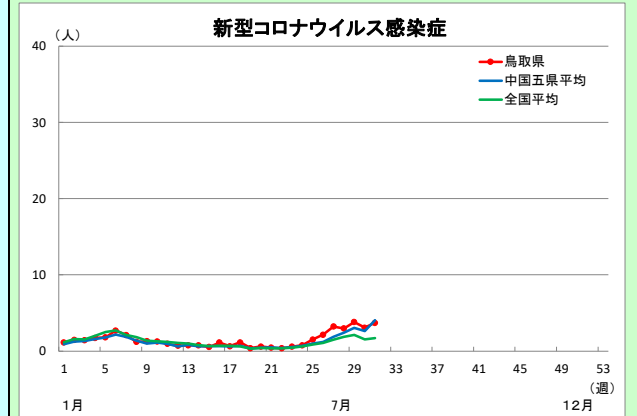
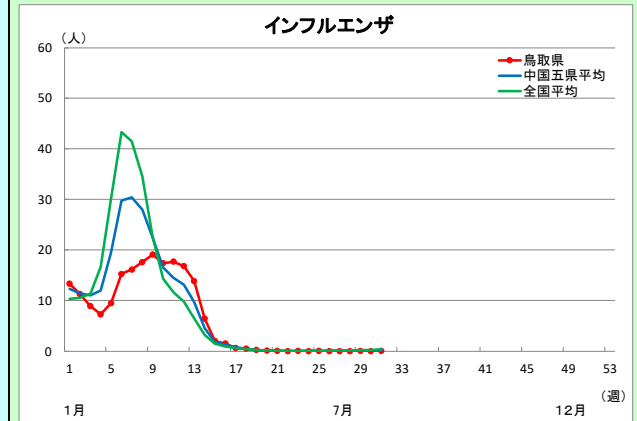
地区発生状況(定点当たり)



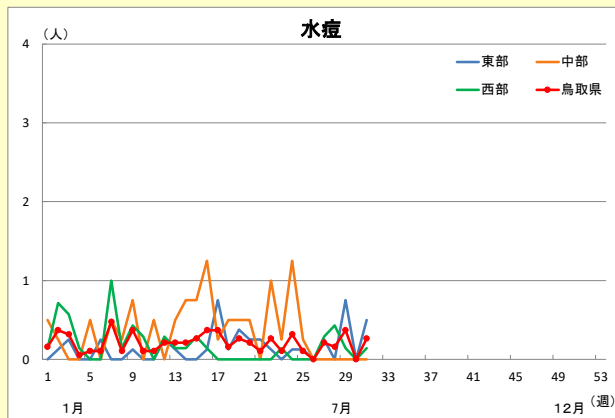
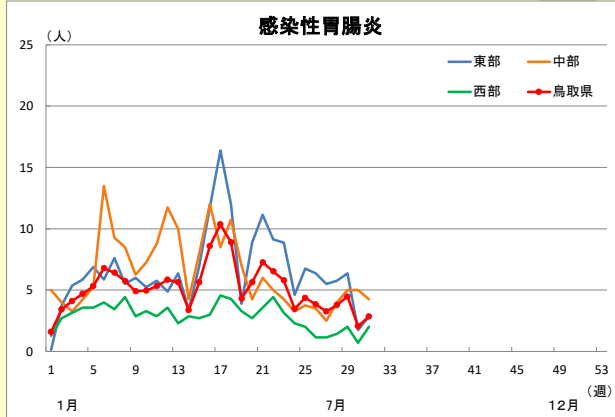
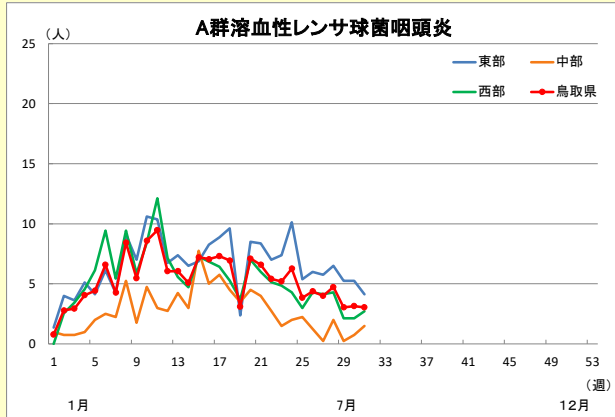
年次別発生状況(定点当たり)



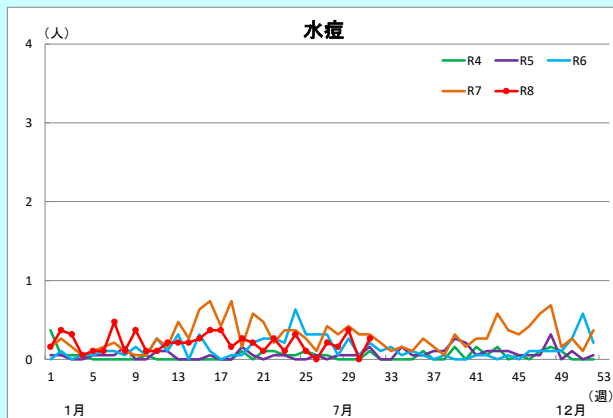
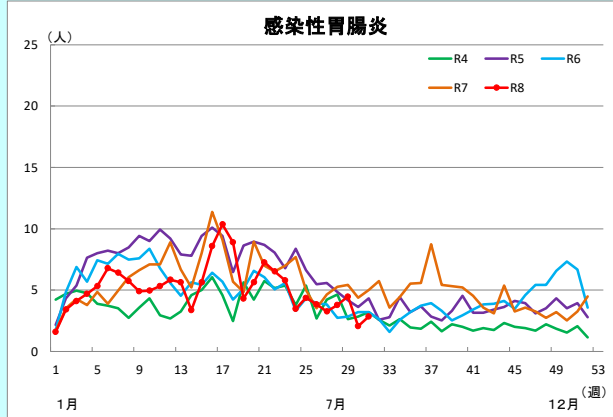
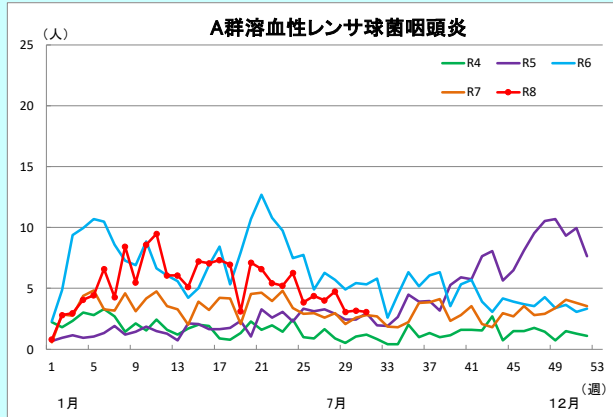
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



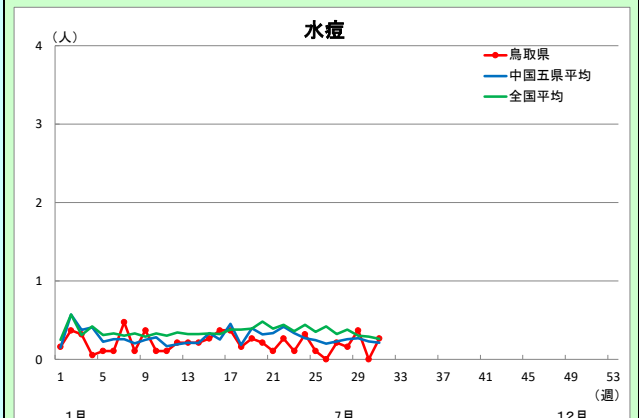
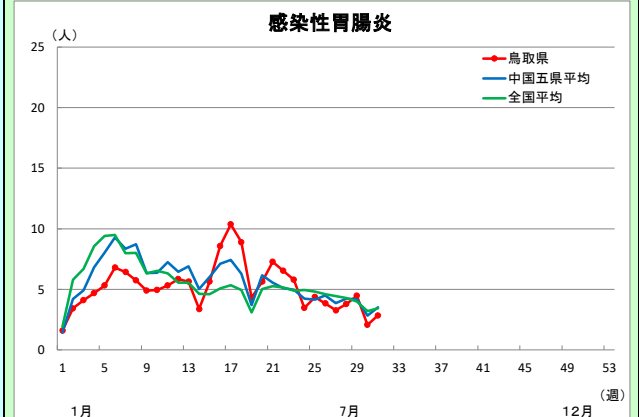
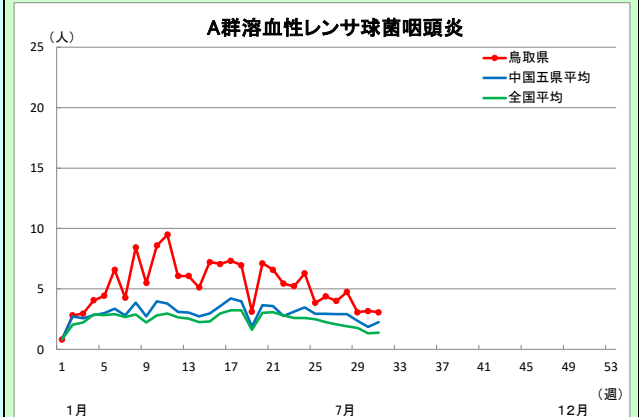
地区発生状況(定点当たり)



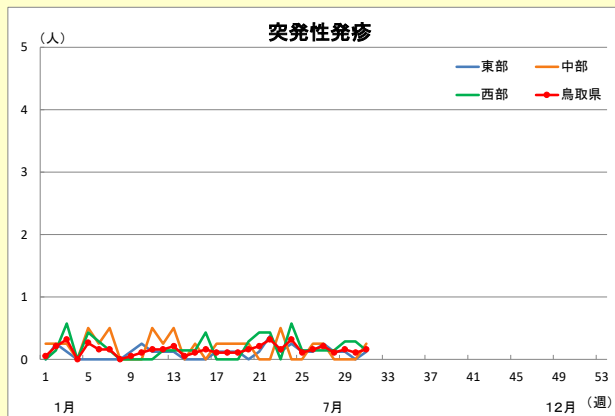
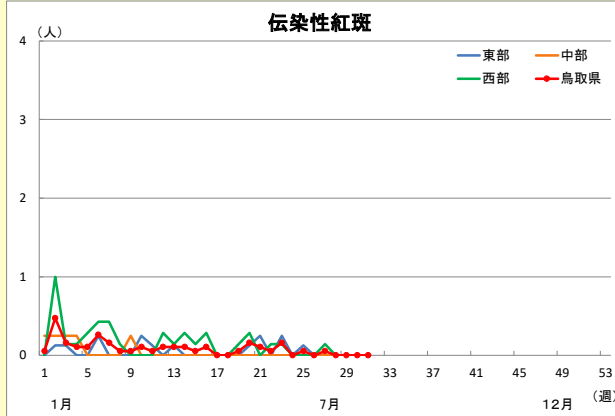
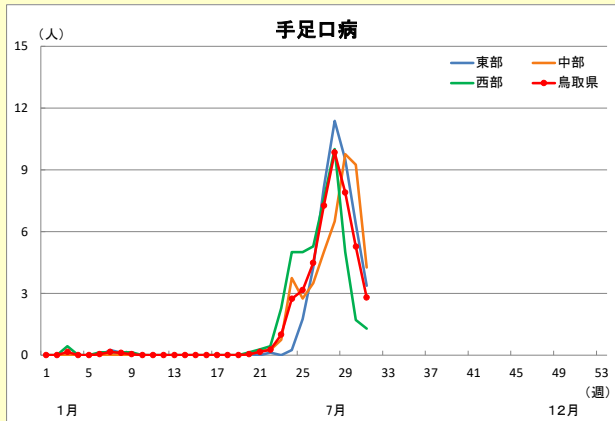
年次別発生状況(定点当たり)



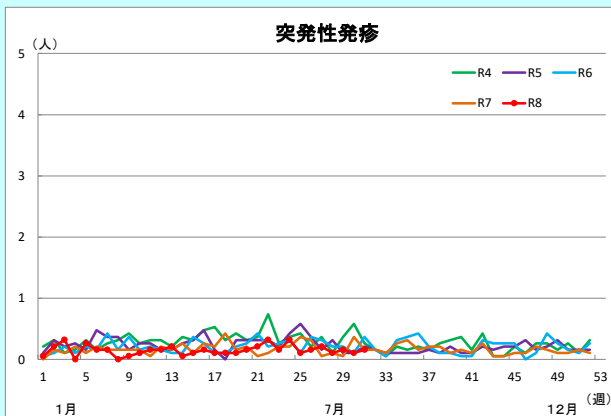
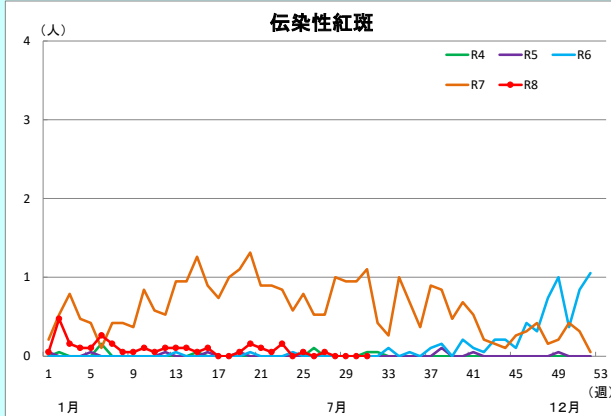
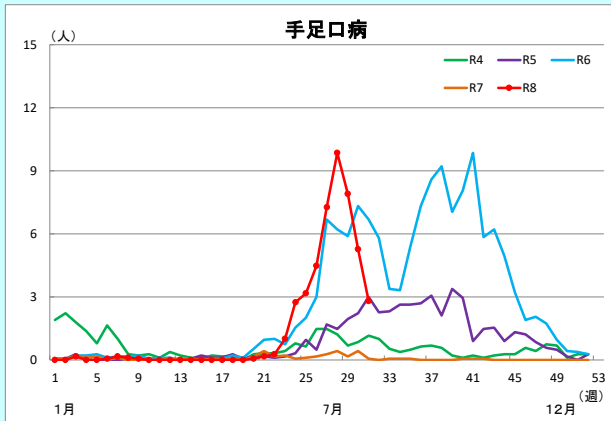
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



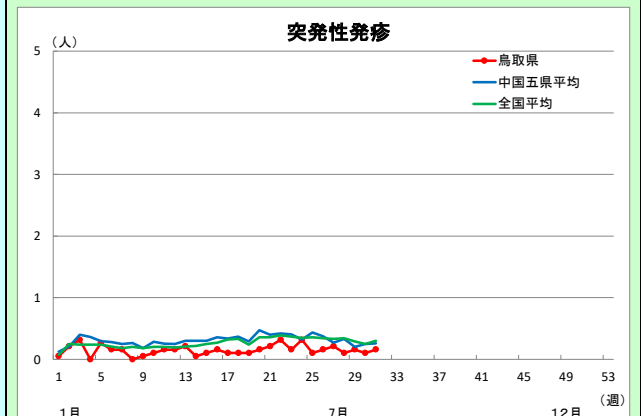
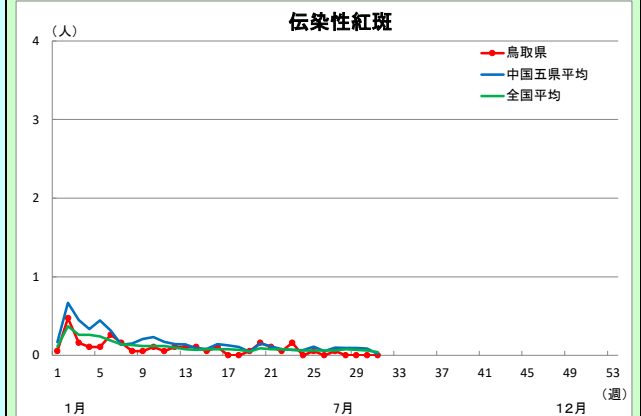
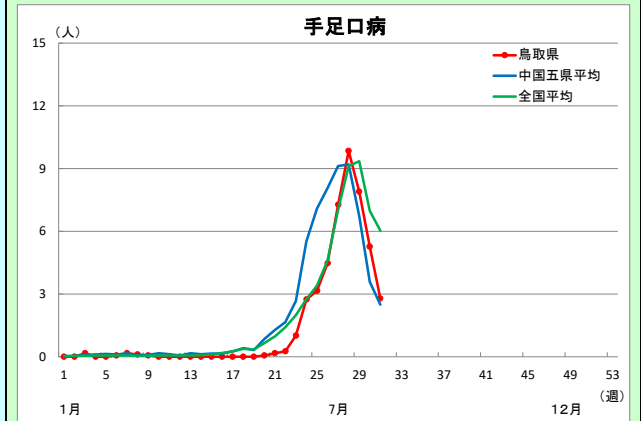
地区発生状況(定点当たり)



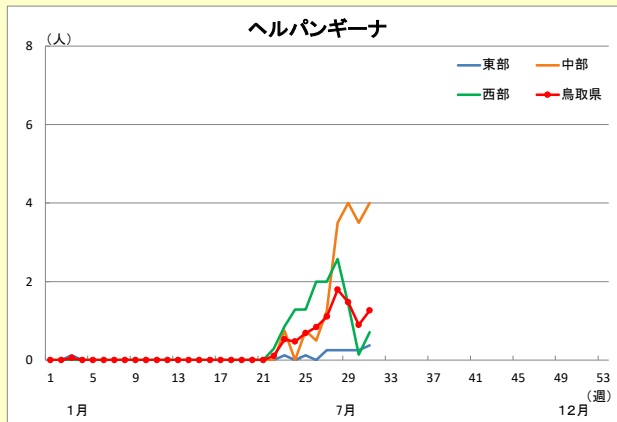
年次別発生状況(定点当たり)



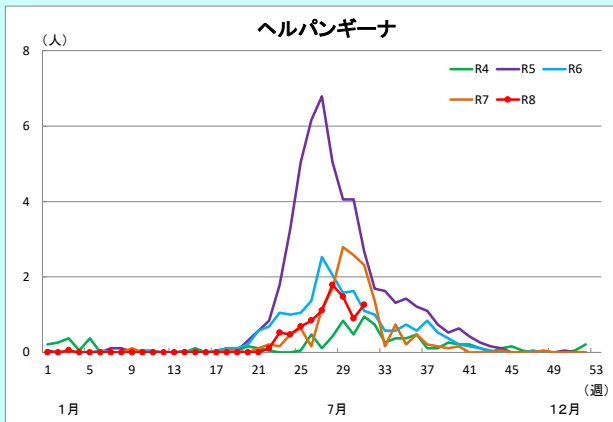
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



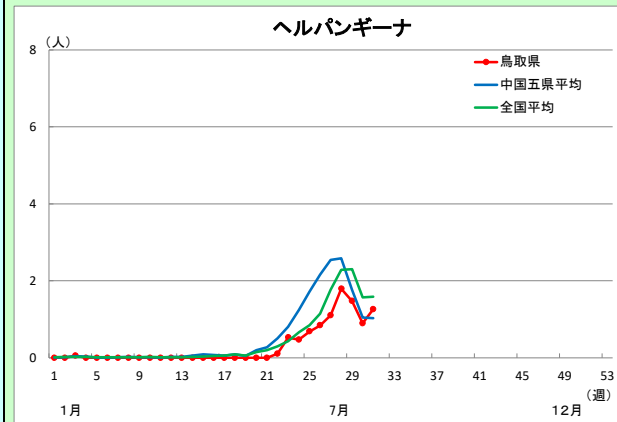
地区発生状況(定点当たり)



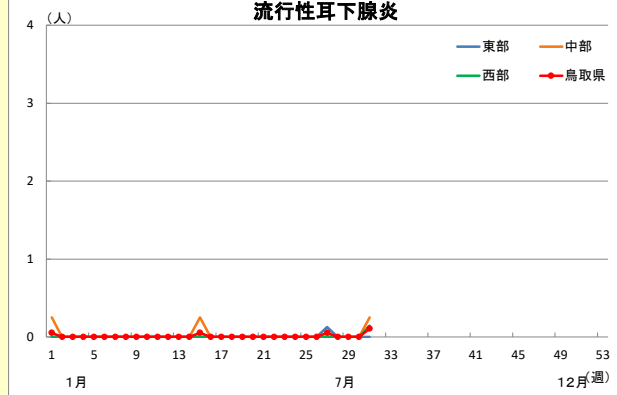
年次別発生状況(定点当たり)



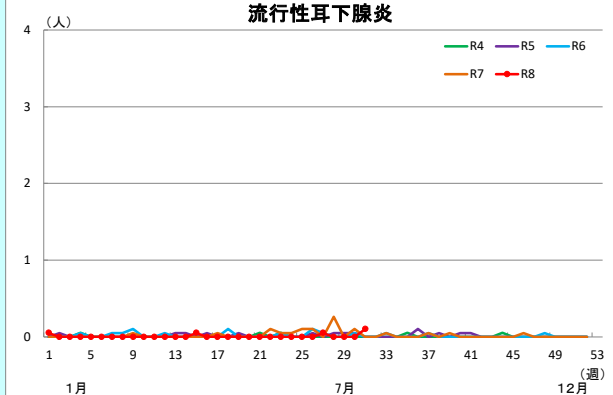
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



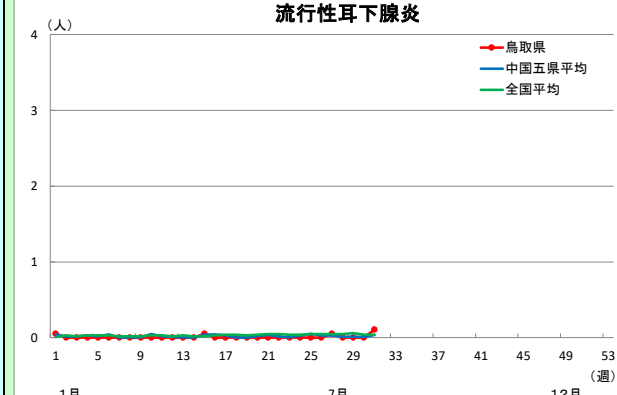
流行性耳下腺炎



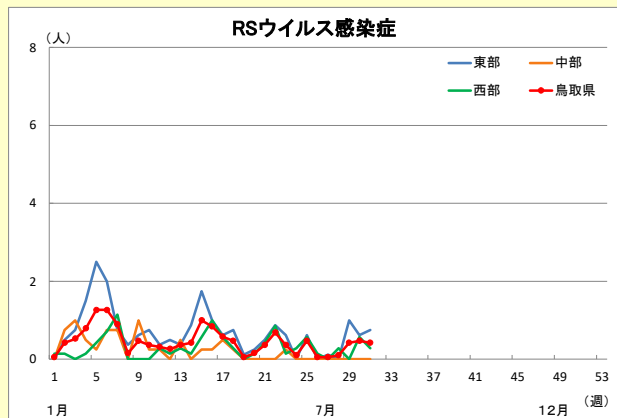
流行性耳下腺炎



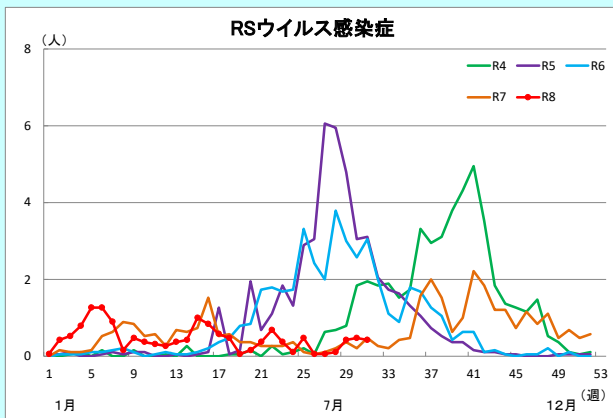
流行性耳下腺炎



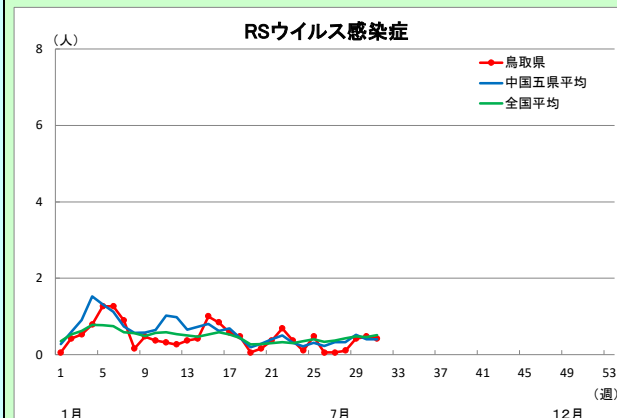
RSウイルス感染症



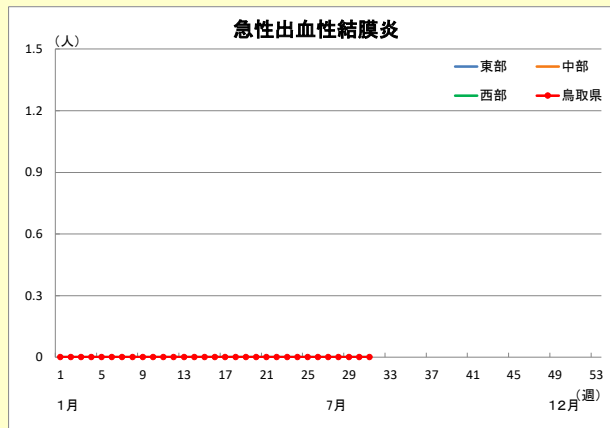
RSウイルス感染症



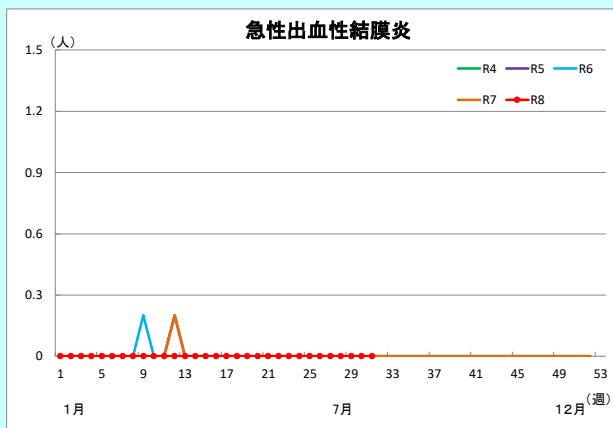
RSウイルス感染症



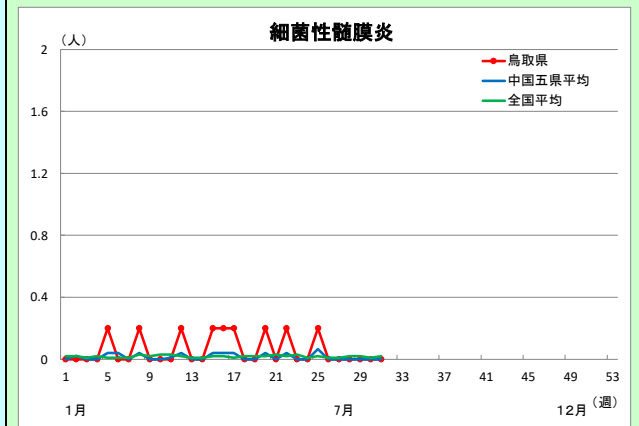
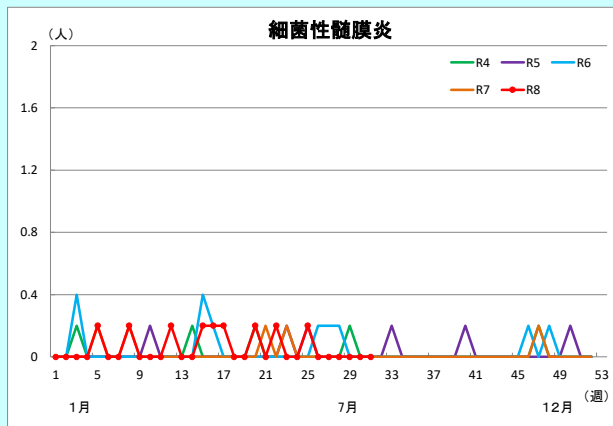
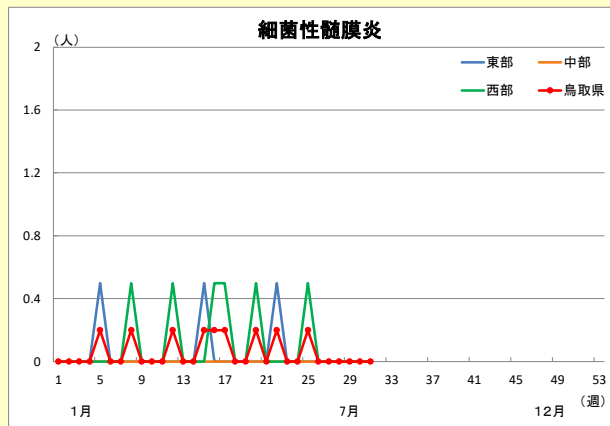
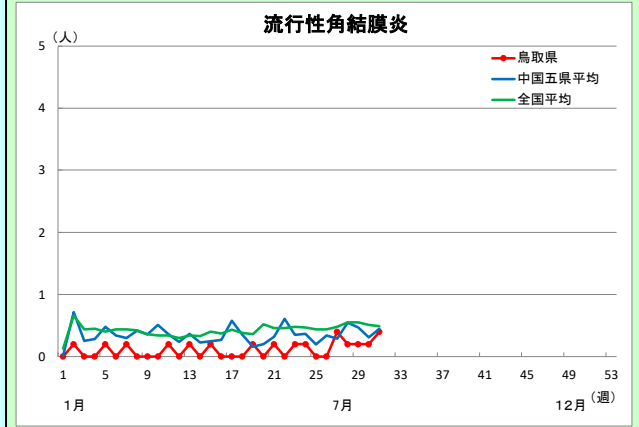
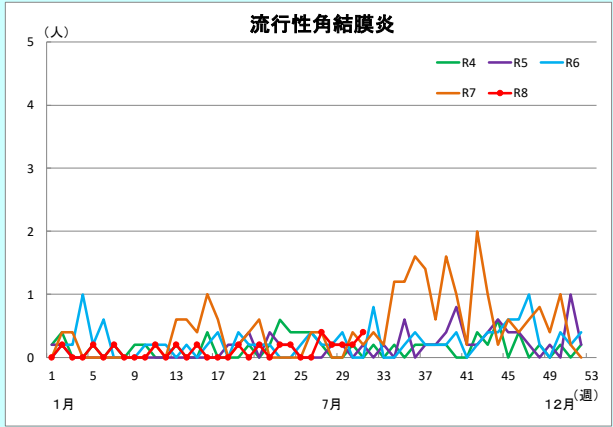
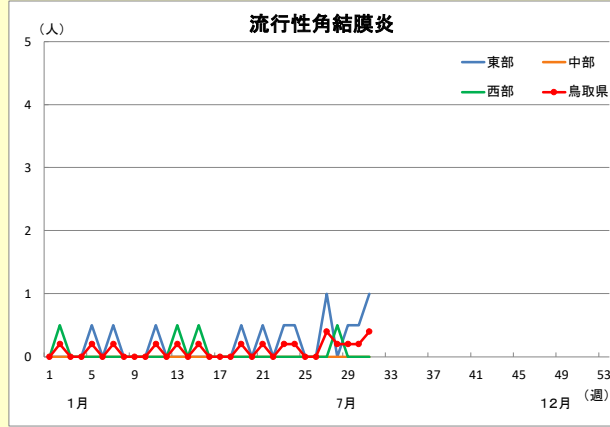
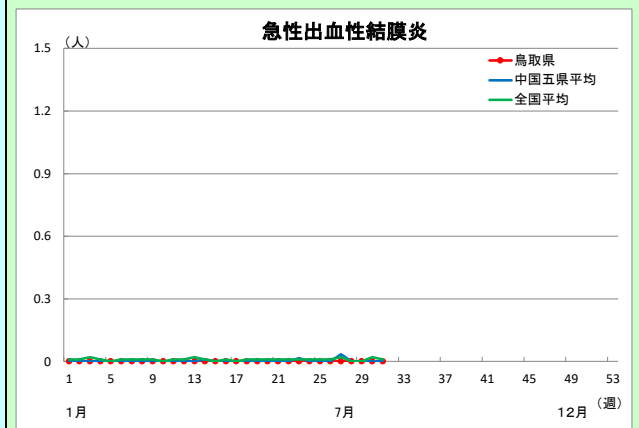
地区発生状況(定点当たり)



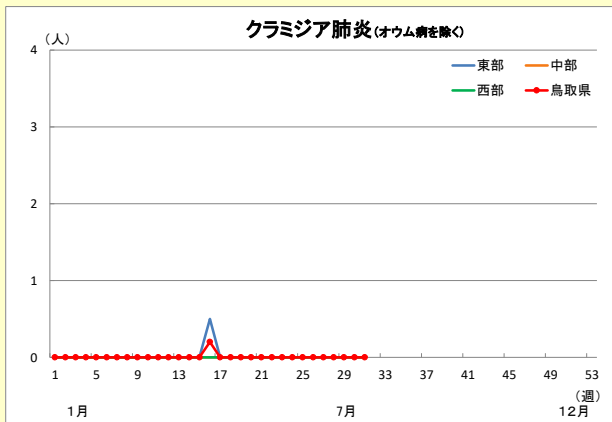
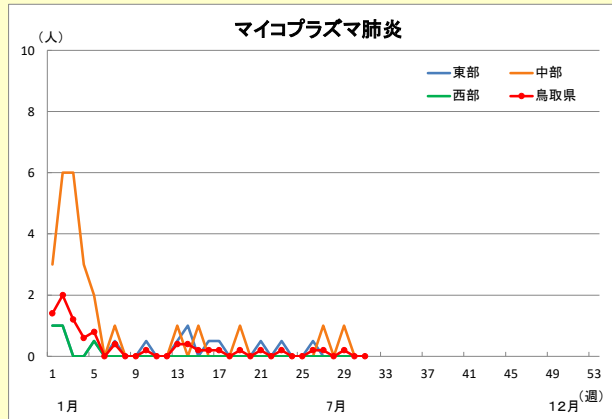
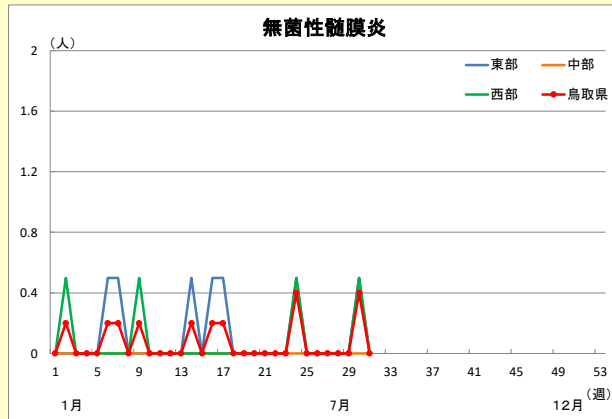
年次別発生状況(定点当たり)



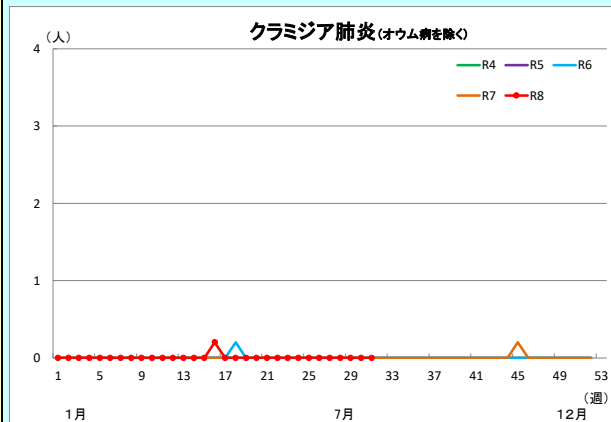
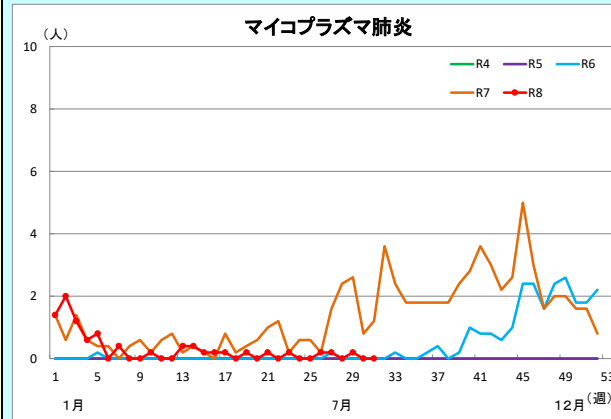
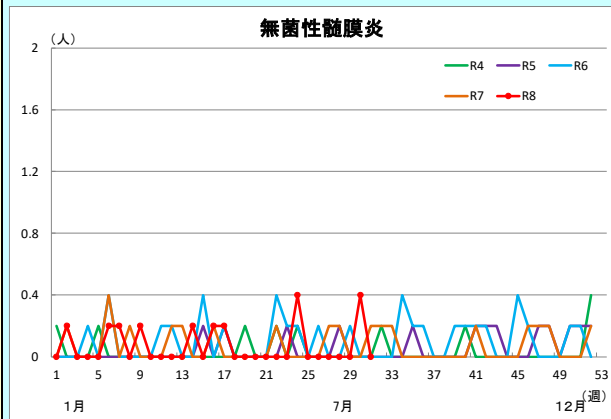
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



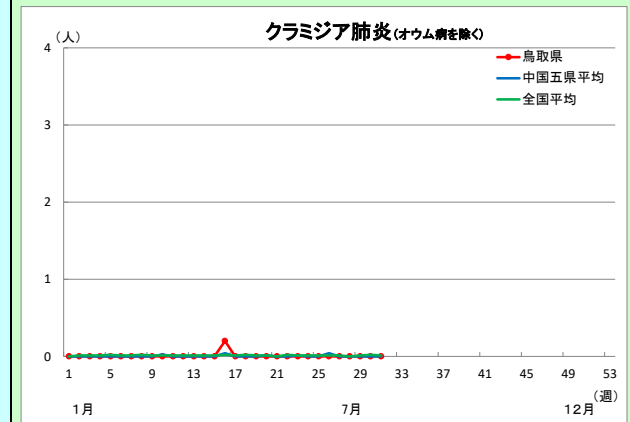
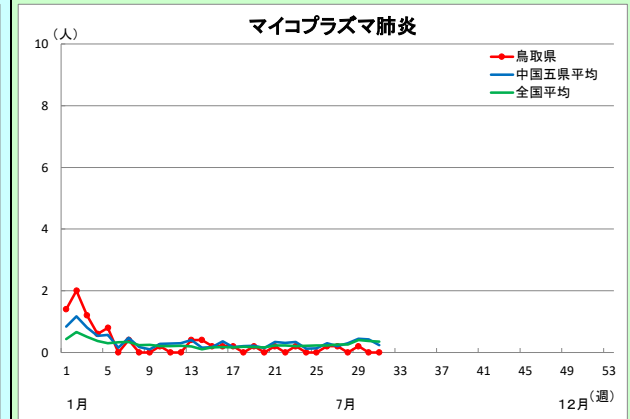
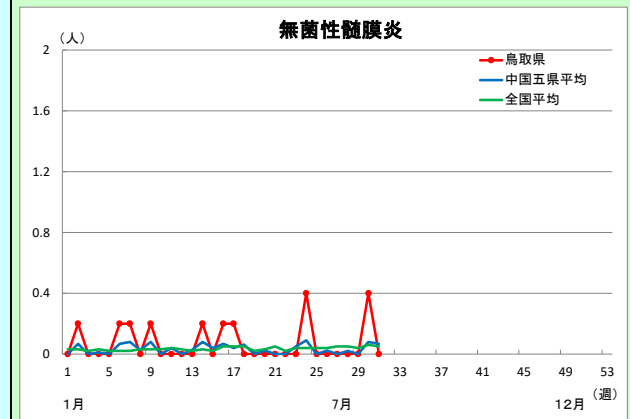
地区発生状況(定点当たり)



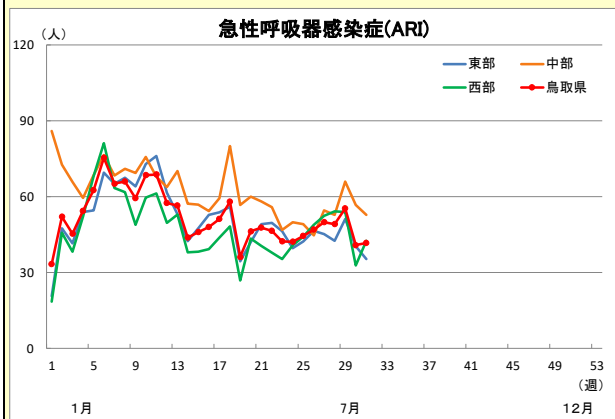
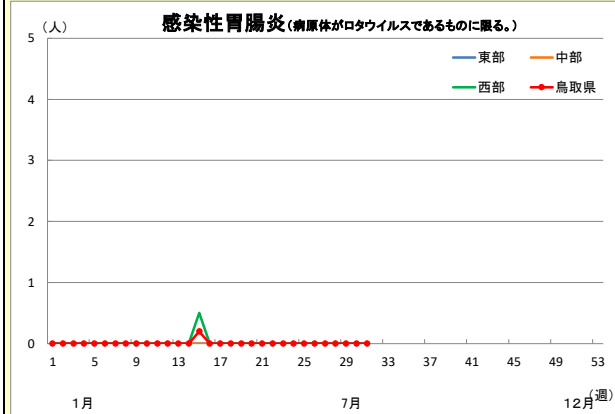
年次別発生状況(定点当たり)



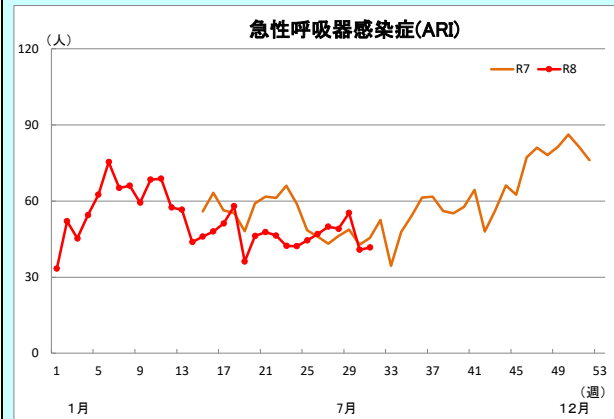
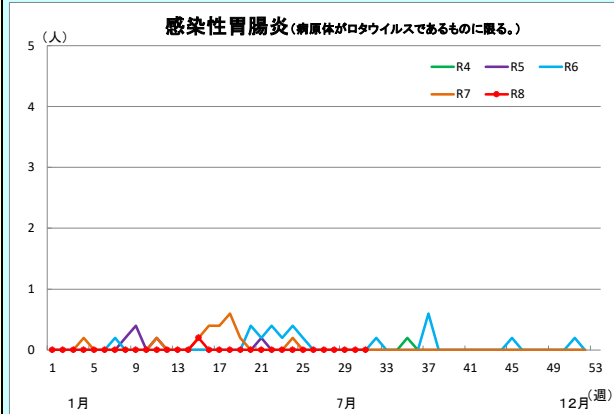
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



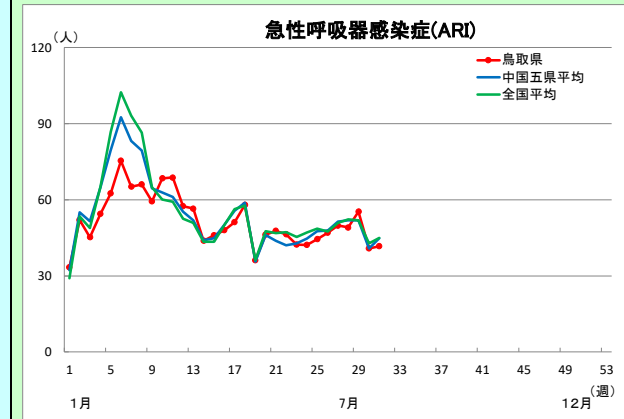
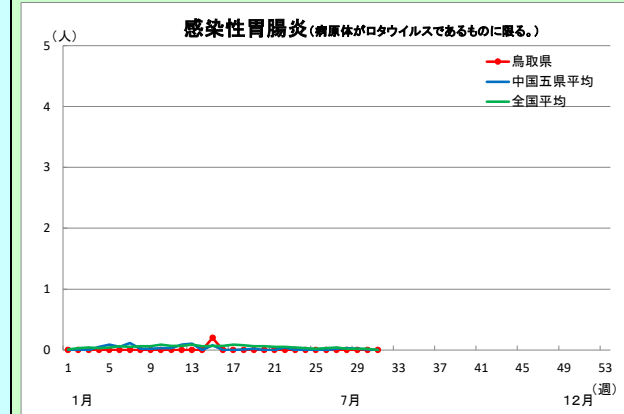
地区発生状況(定点当たり)



年次別発生状況(定点当たり)



中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



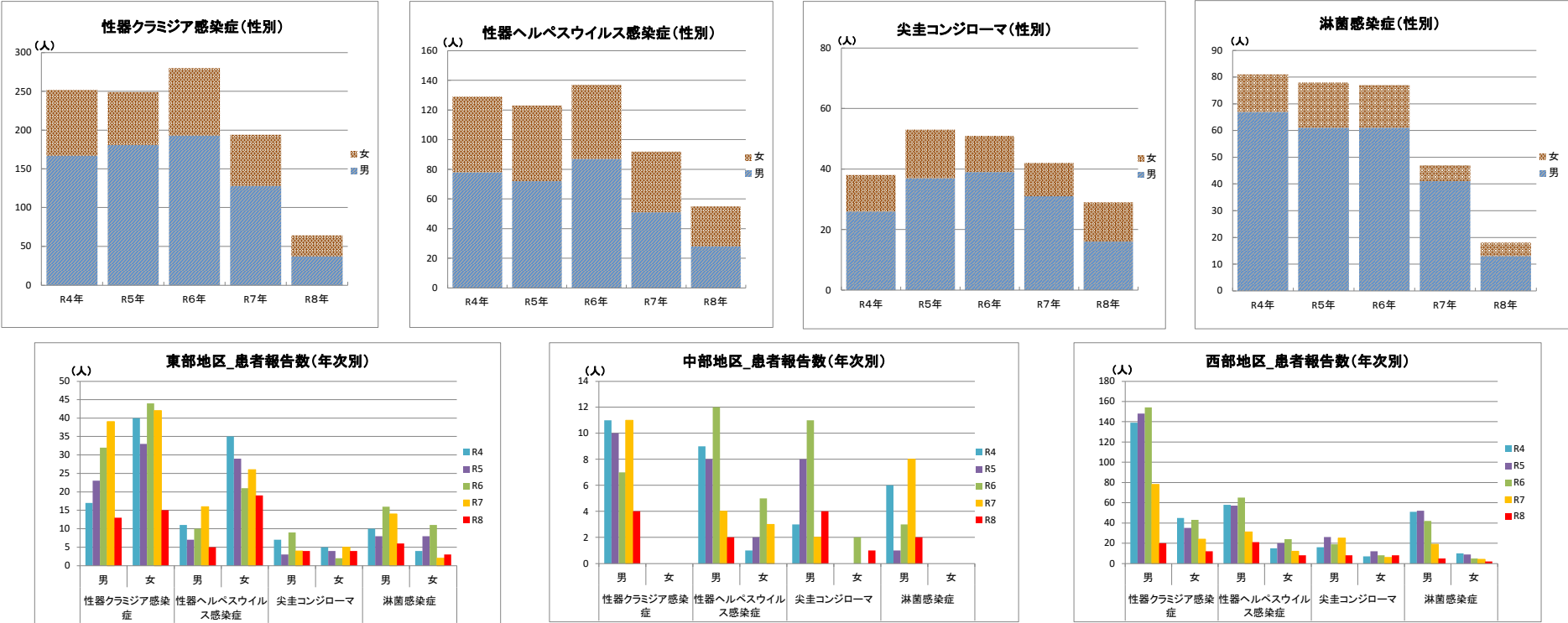
注)新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1～5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

令和7年																						
定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
S	性器クラミジア感染症	9	3	12	15	4	19	13	6	19	10	9	19	21	3	24	11	7	18	14	5	19
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	4	11	3	2	5	2	4	6	3	4	7	7	1	8	2	4	6	6	5	11
D	尖圭コンジローマ	0	1	1	3	1	4	4	4	8	5	3	8	3	1	4	1	0	1	4	1	5
7	淋菌感染症	3	0	3	4	0	4	5	0	5	2	0	2	3	0	3	5	2	7	4	1	5
基 幹 5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	2	7	9	5	14	5	5	10	6	5	11	3	2	5	6	1	7	8	2	3
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
		11月			12月			12月計			対前年累計比率											
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
		4	9	13	13	5	18	128	66	194	66%	76%	69%									
		4	7	11	3	3	6	51	41	92	59%	82%	67%									
		0	0	0	3	0	3	31	11	42	79%	92%	82%									
		2	1	3	2	1	3	41	6	47	67%	38%	61%									
		7	5	12	3	5	8	59	43	102	87%	123%	99%									
		0	0	0	0	0	0	3	1	4	38%	—	50%									
		0	0	0	2	0	2	200%	—	200%												

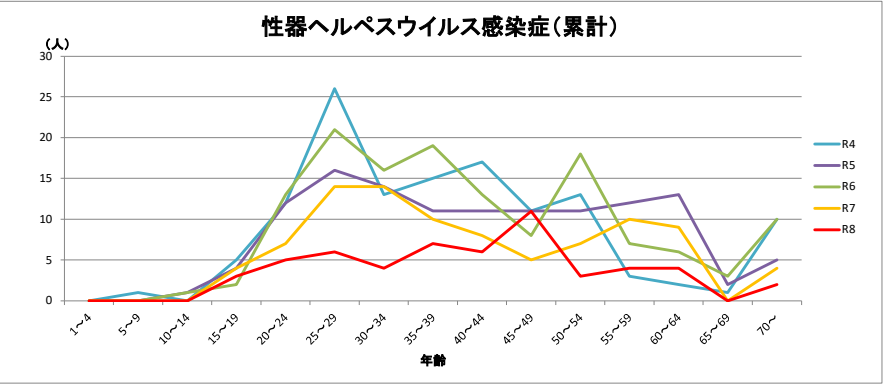
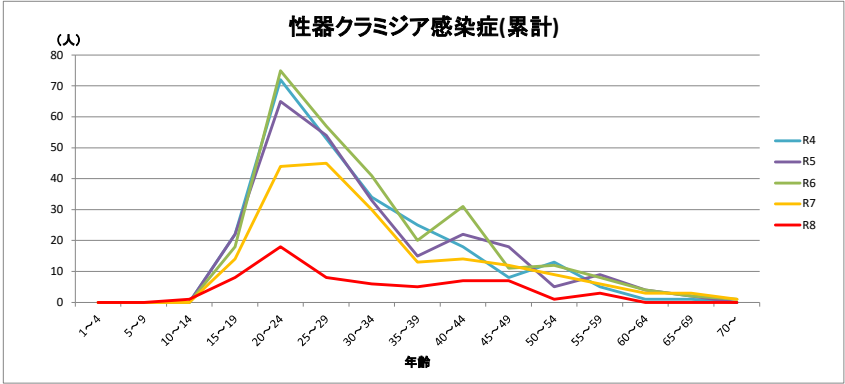
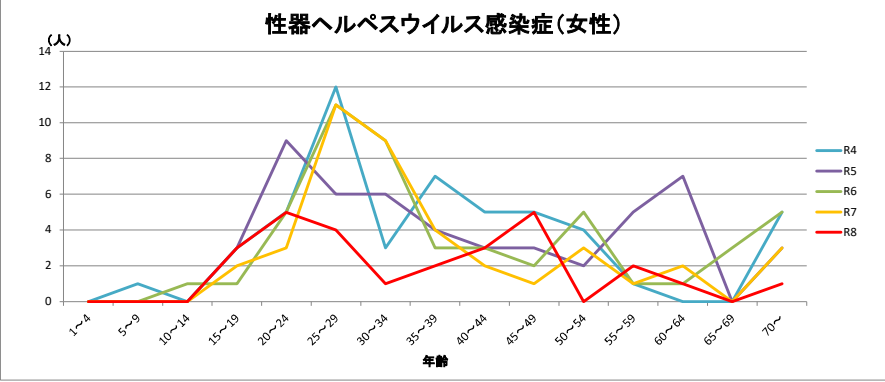
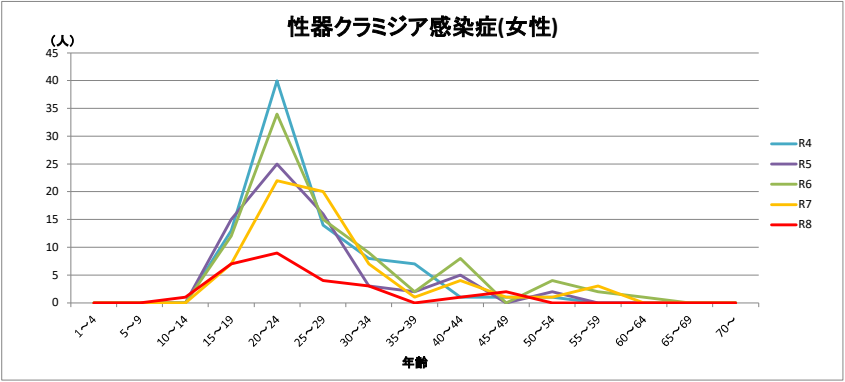
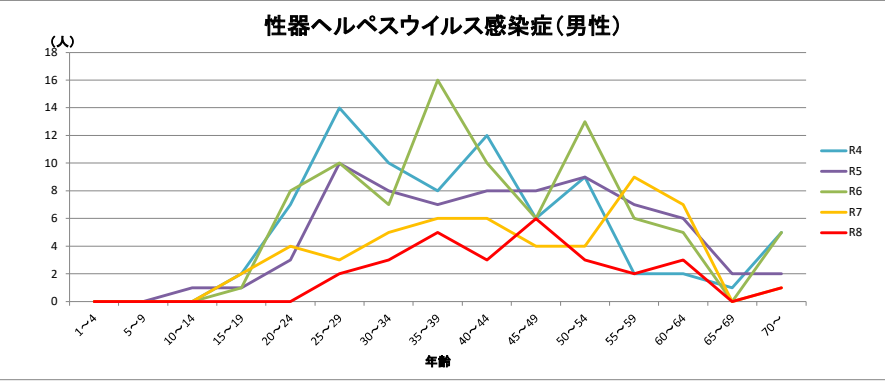
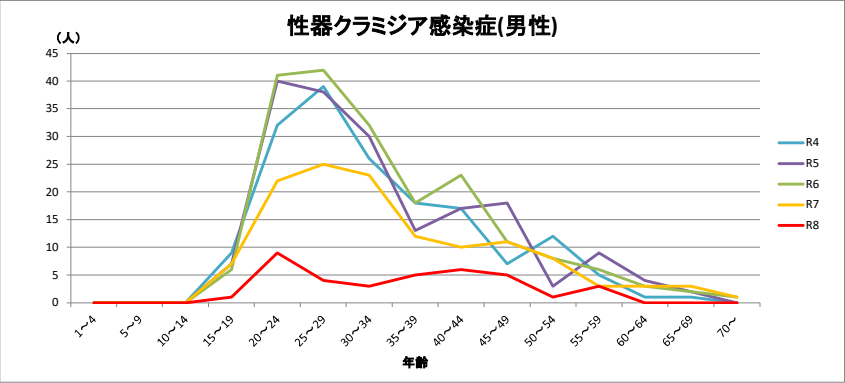
令和8年																						
定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
S	性器クラミジア感染症	6	5	11	6	2	8	3	7	10	9	4	13	3	2	5	8	4	12	2	3	5
T	性器ヘルペスウイルス感染症	2	7	9	4	3	7	5	6	11	5	2	7	1	4	5	5	1	6	6	4	10
D	尖圭コンジローマ	0	2	2	1	0	1	0	3	3	6	3	9	3	1	4	3	1	4	3	3	6
7	淋菌感染症	2	0	2	2	0	2	0	3	3	5	0	5	3	1	4	0	0	0	1	1	2
基 幹 5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	9	5	14	7	2	9	4	4	8	5	2	7	8	1	9	7	1	8	3	7	10
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		11月			12月			7月計			対前年7月末累計比率											
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
								37	27	64	40%	73%	49%									
								28	27	55	93%	113%	102%									
								16	13	29	80%	118%	94%									
								13	5	18	50%	167%	62%									
								43	22	65	105%	105%	105%									
								0	0	0	0%	0%	0%									
								0	0	0	0%	—	0%									

「薬剤耐性緑膿菌感染症」は、定点把握対象疾患から全数把握対象疾患への変更に伴い、令和8年4月5日届出分までを集計しています。

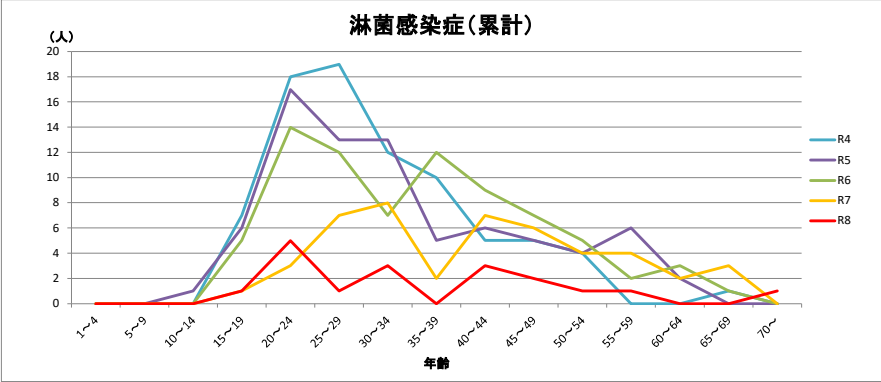
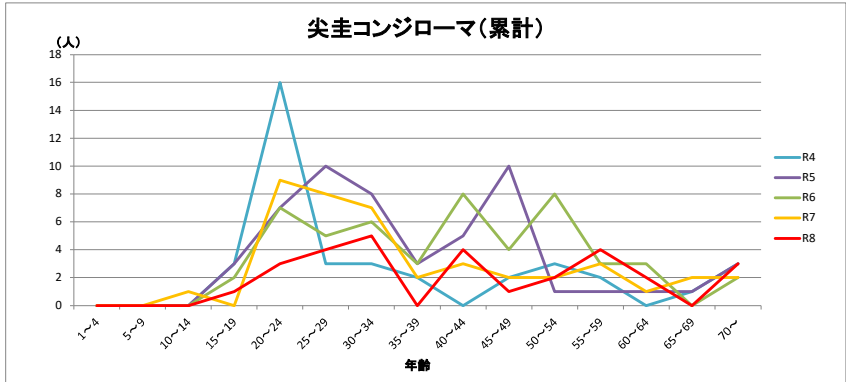
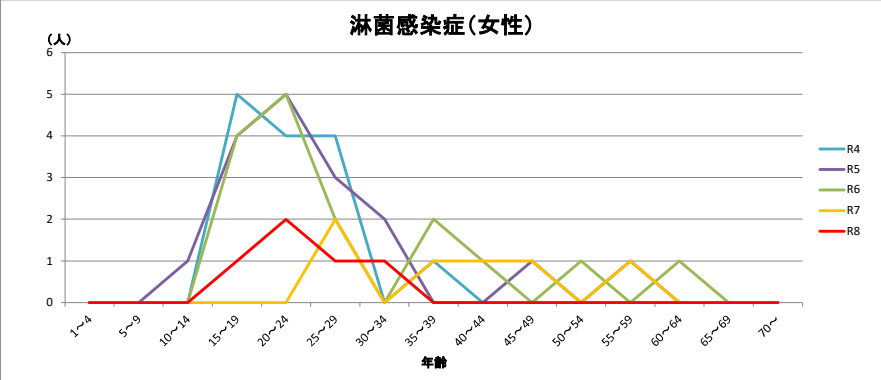
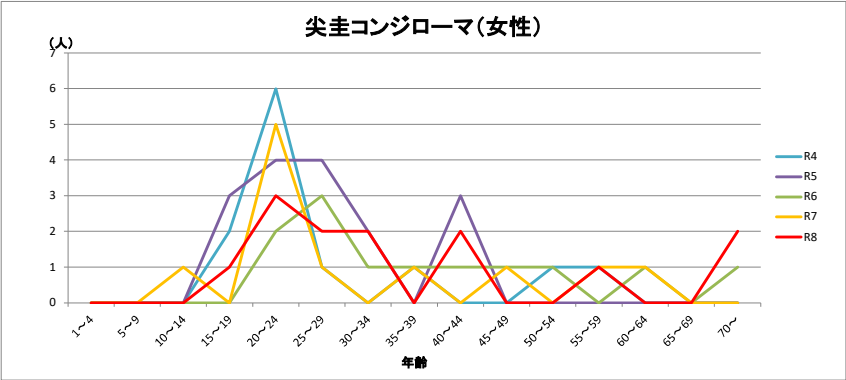
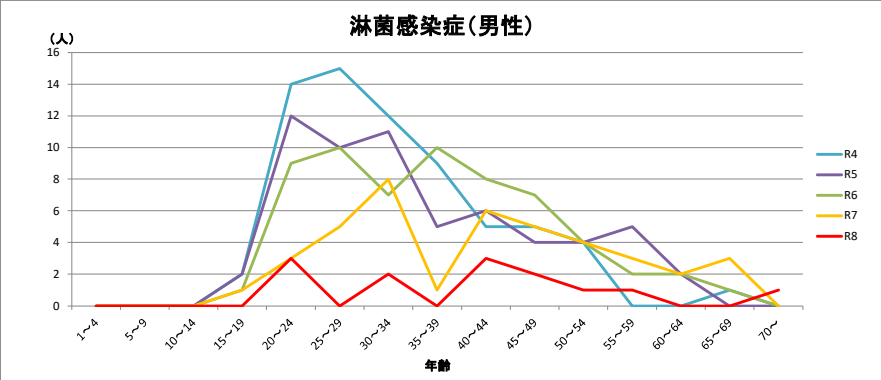
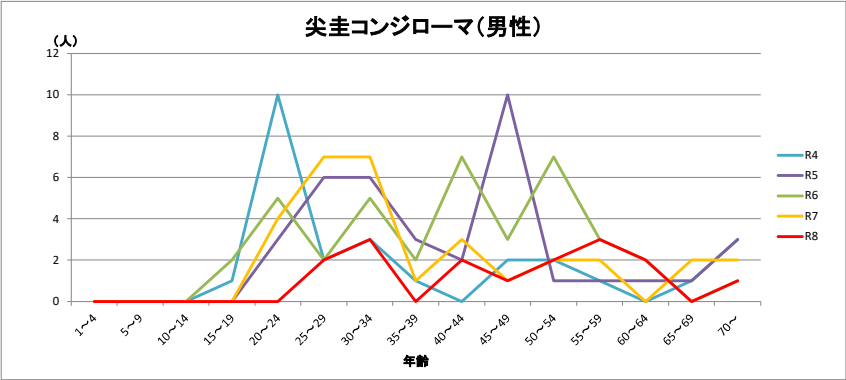
※各年毎に1月から12月の定点医療機関からの累計患者報告数です。



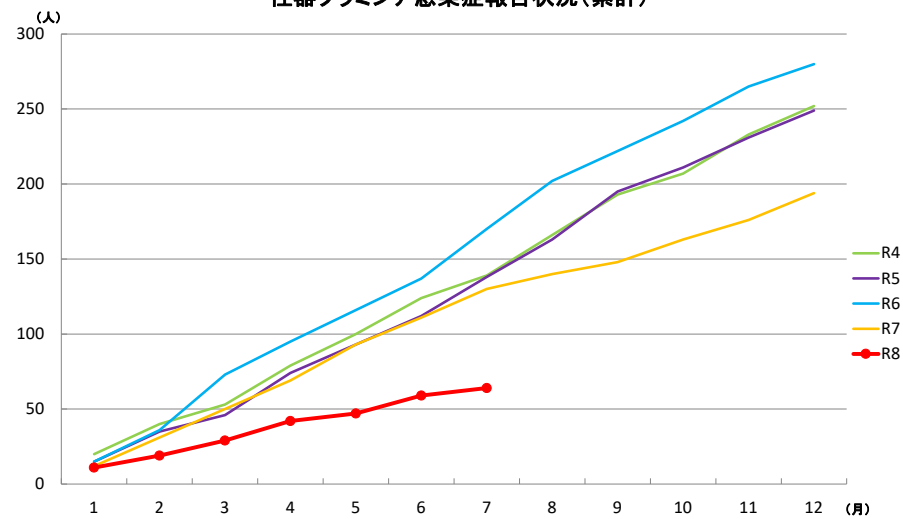
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



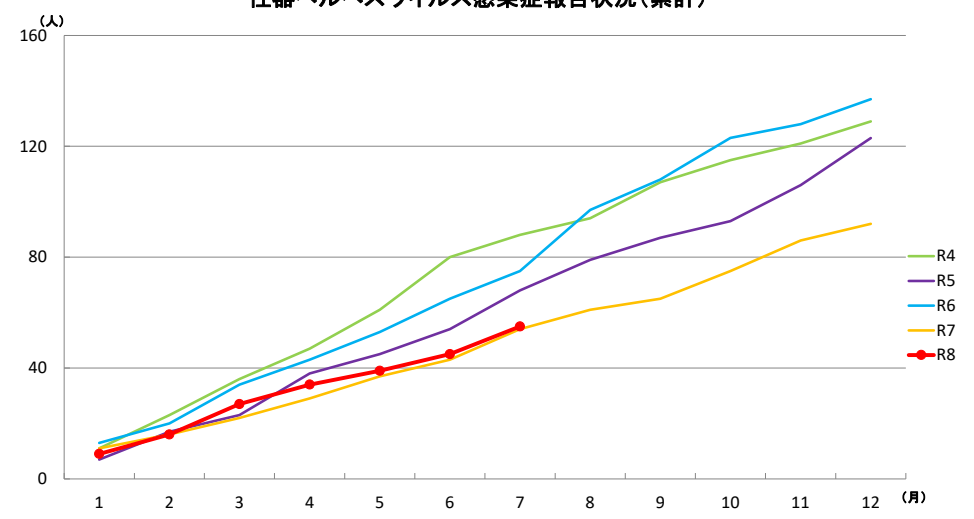
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



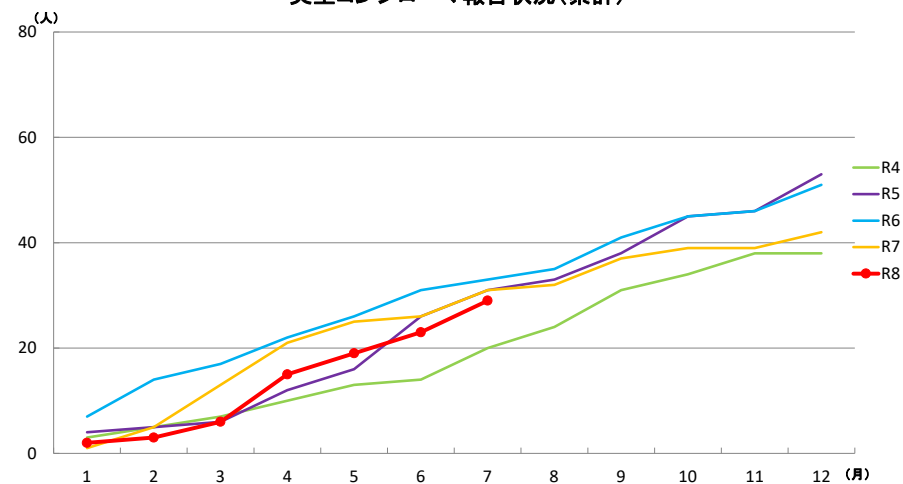
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



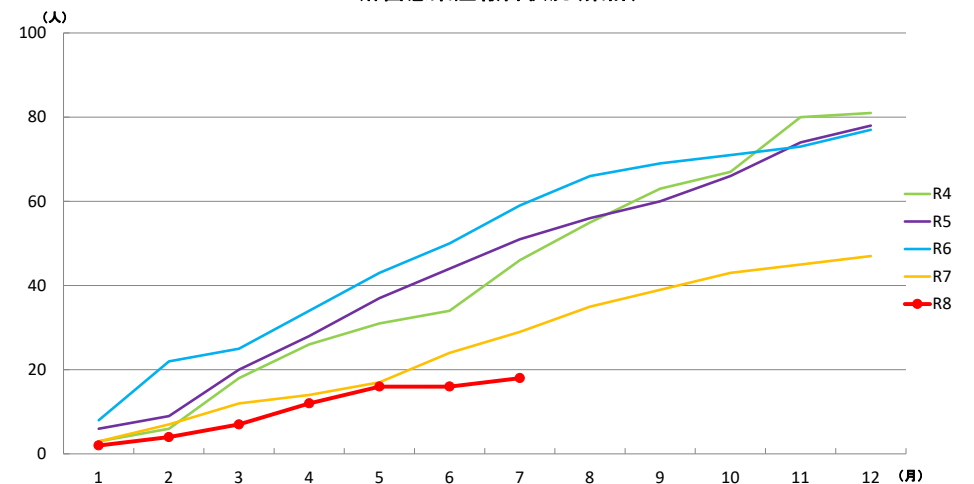
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



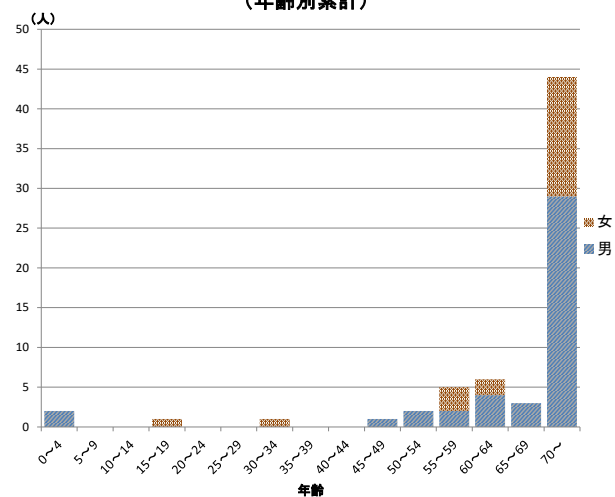
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



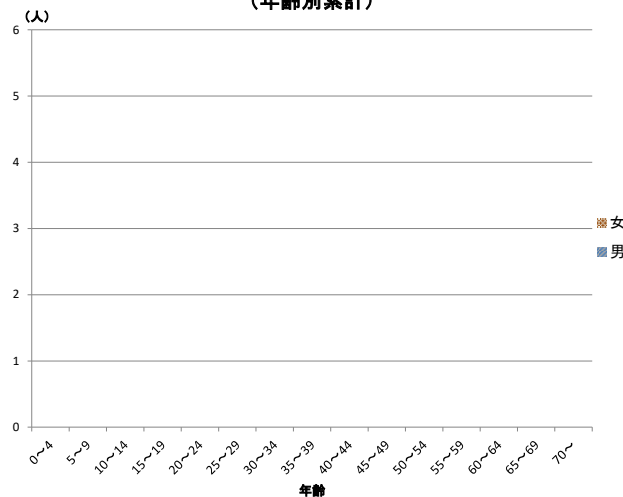
淋菌感染症報告状況(累計)



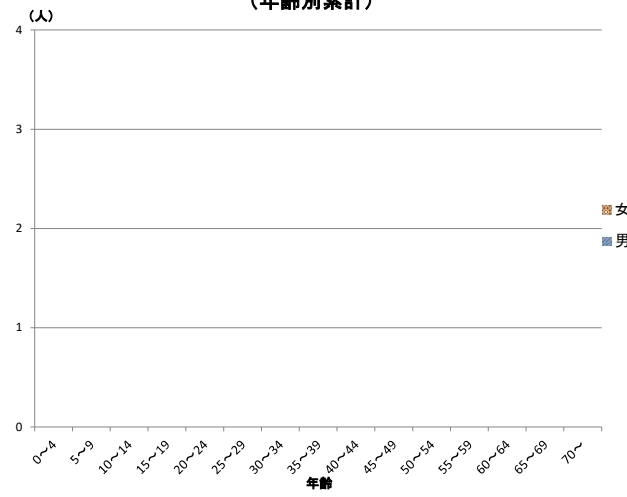
令和8年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
(年齢別累計)



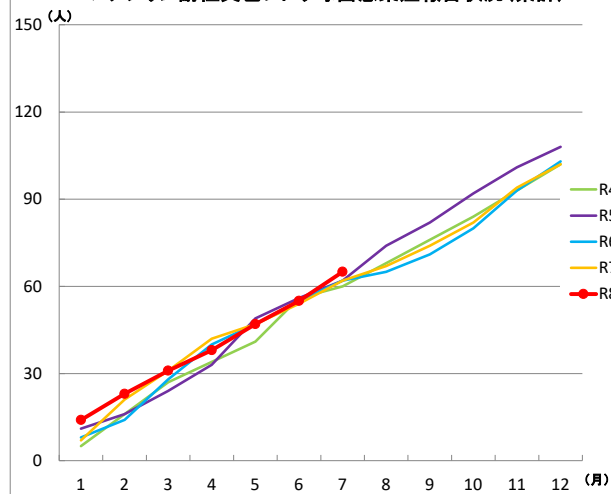
令和8年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
(年齢別累計)



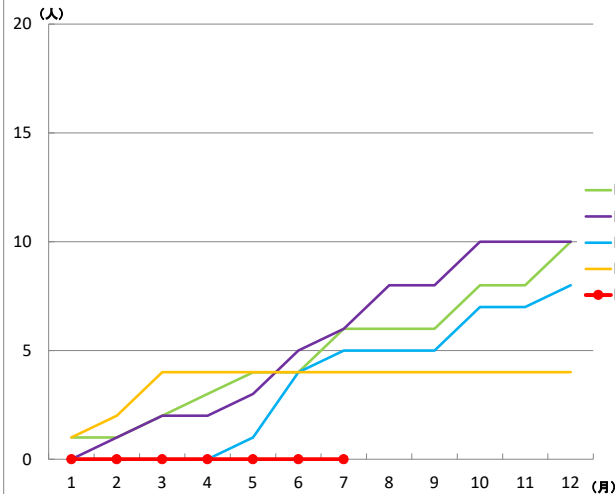
令和8年 薬剤耐性緑膿菌感染症
(年齢別累計)



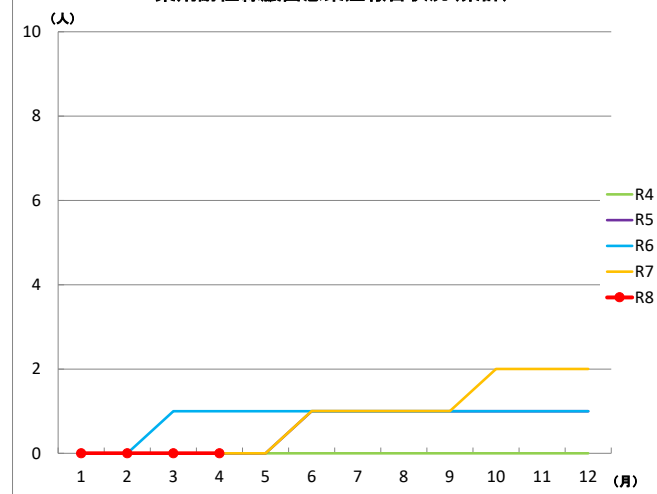
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)



鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和8年)

令和8年7月31日 現在
※()は前年数値

(1)2類感染症

疾 病 名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													7月時点	年間	
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)
結核	5 (3)	1 (3)	5 (3)	3 (4)	2 (6)	1 (4)	5 (8)	(7)	(3)	(6)	(4)	(4)	22	(31)	(55)
潜在性結核 ※再掲	2	1	1	1 (1)			2 (1)	(2)	(2)		(2)	(1)	7	(2)	(9)
疑似症患者 ※再掲													0	(0)	(0)
ジフテリア													0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群													0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)													0	(0)	(0)

(2)3類感染症

疾 病 名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													7月時点	年間	
コレラ													0	(0)	(0)
疑似症 ※再掲													0	(0)	(0)
細菌性赤痢													0	(0)	(0)
腸管出血性大腸菌感染症	6	2	1	4	8		(1)	(2)	(24)				21	(1)	(27)
腸チフス													0	(0)	(0)
パラチフス													0	(0)	(0)

(3)4類感染症

疾 病 名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													7月時点	年間	
マラリア													0	(0)	(0)
E型肝炎						(1)							0	(1)	(1)
A型肝炎					1								1	(0)	(0)
つつが虫病	(1)			1							(1)		1	(1)	(2)
日本紅斑熱					2 (1)	(1)	1	(1)	(1)				3	(2)	(4)
重症熱性血小板減少症候群					(1)	(1)			(1)				0	(2)	(3)
レジオネラ症	2 (1)	(2)	1 (1)	(1)	1 (3)	1 (1)	(2)	(2)	(2)	(1)			5	(11)	(16)
レプトスピラ症													0	(0)	(0)
デング熱													0	(0)	(0)
チクングニア熱													0	(0)	(0)

(4)5類感染症

疾 病 名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													7月時点	年間	
アメーバ赤痢		1				1	(1)						2	(1)	(1)
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)		(1)								(1)	(1)		0	(1)	(3)
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)				1									1	(0)	(0)
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	(1)	(1)	1 (1)			2	(1)			(1)	(1)		3	(4)	(6)
クリプトスポリジウム症													0	(0)	(0)
クロイツフェルト・ヤコブ病													0	(0)	(0)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(1)		1 (1)		(1)	(1)	2					(1)	3	(4)	(5)
後天性免疫不全症候群						(2)						(1)	0	(2)	(3)
無症候性キャリア ※再掲												(1)	0	(0)	(1)
AIDS ※再掲													0	(0)	(0)
その他						(2)							0	(2)	(2)
侵襲性インフルエンザ菌感染症					1 (1)	(1)							1	(2)	(2)
侵襲性髄膜炎菌感染症													0	(0)	(0)
侵襲性肺炎球菌感染症	2 (5)	1 (1)	(1)	1	5 (3)		(2)	(2)			(2)	(1)	9	(12)	(17)
水痘(入院例に限る。)	1		1			1							3	(0)	(0)
梅毒	4 (9)	1 (2)	(2)	(3)	3	1	1 (5)	(1)	(6)	(1)	(2)	(2)	10	(21)	(33)
播種性クリプトコックス症	(1)	1 (1)	(1)										1	(3)	(3)
破傷風													0	(0)	(0)
薬剤耐性アシネトバクター感染症													0	(0)	(0)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1	2										3	(0)	(0)
ジアルジア症													0	(0)	(0)
百日咳	7 (28)	2 (44)	4 (74)	1 (120)	2 (98)	1 (100)	6 (104)	(47)	(39)	(14)	(14)	(4)	23	(568)	(686)
麻疹					(1)								0	(1)	(1)
風しん													0	(0)	(0)

令和8年7月31日 現在

※()は健康保菌者

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
													7月時点	年間
令和8年	6 (4)	2 (1)	1	4 (2)	8								21 (7)	21 (7)
令和7年							1 (1)	2	24 (2)				1 (1)	27 (3)
令和6年		1	1		5 (2)	2 (1)	1 (1)	3	1 (1)	3 (1)	3	1	10 (4)	21 (6)
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)	1 (0)	19 (6)
令和4年		2 (2)				1	2	3			3 (1)	3	5 (2)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)						10 (6)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1	12 (2)	26 (9)
令和元年		1	1 (1)		6 (1)	1	2		4 (1)	3 (2)	4	2 (2)	11 (2)	24 (7)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1			8 (2)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1			4 (3)	1 (1)	15 (7)	21 (11)

② 血清型別件数

区 分	O1	O8	O26	O29	O55	O103	O111	O125	O128	O145	O146	O148	O157	型不明	計
令和8年	1 (1)					9 (1)						1 (1)	8 (2)	2 (2)	21 (7)
令和7年						1 (1)							25 (1)	1 (1)	27 (3)
令和6年			1		2 (2)		2				1 (1)		13 (1)	2 (2)	21 (6)
令和5年			1 (1)										17 (4)	1 (1)	19 (6)
令和4年						3					2 (2)		8	1 (1)	14 (3)
令和3年						4 (2)					1 (1)		3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年		1	4 (2)	1		4 (2)	3 (1)	1 (1)	1		1 (1)		7	3 (2)	26 (9)
令和元年						3 (1)	4 (1)						15 (3)	2 (2)	24 (7)
平成30年			2			3				1			16 (2)		22 (2)
平成29年			1			2 (1)	4 (3)				1 (1)		10 (3)	3 (3)	21 (11)

③ 年齢別件数

区 分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和8年	6 (1)			2 (1)	5 (1)	2	2 (2)	1	3 (2)			21 (7)
令和7年			2	3	9	3 (1)	3 (1)	4	2	1 (1)		27 (3)
令和6年	3	3	1	3 (2)	5 (1)		2 (1)	1 (1)	2 (1)	1		21 (6)
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	4 (3)	2			2	19 (6)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (3)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (7)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)		2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)

④ 地区別件数

区 分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和8年	1 (1)	2	18 (6)	21 (7)
令和7年	2	4 (1)	21 (2)	27 (3)
令和6年	2 (1)	6	13 (5)	21 (6)
令和5年	3 (1)	7 (1)	9 (4)	19 (6)
令和4年	5 (1)	6	3 (2)	14 (3)
令和3年	4 (2)	3 (2)	3 (2)	10 (6)
令和2年	3	15 (5)	8 (4)	26 (9)
令和元年	6 (2)	14 (3)	4 (1)	24 (6)
平成30年	7	5	10 (2)	22 (2)
平成29年	1	8 (4)	12 (7)	21 (11)

鳥取県病原微生物検出情報

(令和 8 年 7 月検出分 検体採取 令和 8 年 6 月及び 7 月)

令和 8 年 8 月 21 日

鳥取県衛生環境研究所

1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体 42 件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

○検査対象（ウイルス）

ライノ、ヒトメタニューモ、インフルエンザ-A 型及び B 型、パラインフルエンザ 1-4、RS-A 型及び B 型、ヒトボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナ NL63、コロナ OC43

○検査対象（細菌）

マイコプラズマ

○検出結果

42 件中 37 検体（88%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：18 件、ヒトボカ：11 件、ヒトメタニューモ：11 件、RS-B：1 件、SARS-CoV-2：3 件、パラインフルエンザ 1 型：3 件、パラインフルエンザ 3 型：2 件、アデノ：4 件、エンテロ：6 件であった。令和 8 年 1 月から令和 8 年 7 月検出分と合わせた年齢別検出数は表 1 のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表 1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和 8 年 1 月～7 月検出分）

病原体年齢別検出数(7月検出数/累積)																
年齢	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≧		合計	
標本数	22	162		10		10	1	29	5	47	8	66	6	34	42	358
ライノ	16	94		3		1		9	1	10		11	1	2	18	130
ヒトボカ	10	34		1									1	1	11	36
ヒトメタニューモ	3	10					1	2	1	3	3	6	3	4	11	25
RS-A		4										1		3		8
RS-B		4								1	1	3		4	1	12
SARS-CoV-2	1	5							1	3	1	11		6	3	25
パラインフルエンザ 1	3	4					1								3	5
パラインフルエンザ 2																
パラインフルエンザ 3		1							1	1	1	2			2	4
パラインフルエンザ 4				1												1
アデノ	4	19										1			4	20
エンテロ	6	6								1					6	7
インフルエンザ A 型		6		2		2		3		3		2		1		19
インフルエンザ B 型		3		4		4		4		3		5		1		24
コロナ NL63		7								2		1				10
コロナ OC43		21						4		5		6		2		38
マイコプラズマ							1									1
検出せず		19		1		3		6	1	15	2	20	2	11	5	75

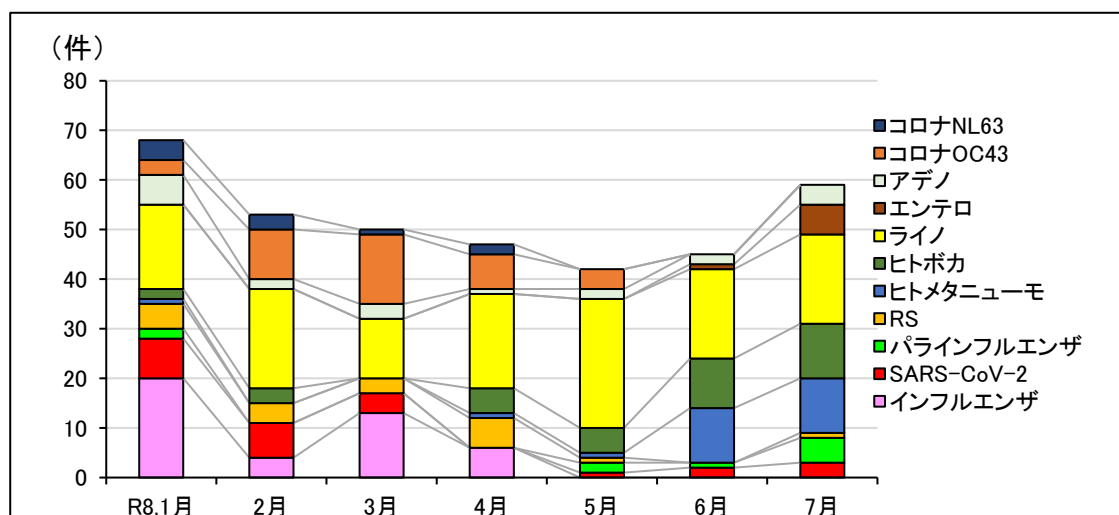


図1. 急性呼吸器感染症の月別ウイルス検出状況（令和8年1月～7月検出分）

アデノウイルスの4件について、C種1型が2件、C種2型が1件、C種5型が1件であった。C種1型、2型及び5型は、急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の9件について検査を行ったところ、ノロウイルスGⅡが1件検出され、遺伝子型はGⅡ.P16-GⅡ.4であった。アデノウイルスでは、感染性胃腸炎の原因ウイルスとされるF種41型が1件検出されたほか、C種2型が2件検出された。このほかサポウイルスが1件検出された。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の5件について検査を行ったところ、A群溶血性レンサ球菌が3件（T型別4型：1件、不明：2件）分離された。4型は咽頭炎で検出される型である。

4 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の1件について検査を行ったところ、A型が1件検出された。症状は発熱、下気道炎、咳嗽、鼻汁であった。

5 手足口病

臨床診断名が手足口病の10件について検査を行ったところ、エンテロウイルスが10件（CA6型：6件、型不明：4件）検出された。CA6型は手足口病の原因となるウイルスである。

6 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の2症例（6検体）について検査を行ったところ、エンテロウイルスが3件（CA6型：1件、型不明：2件）検出された（表2）。CA6型は無菌性髄膜炎の原因となるウイルスである。このほかヘルペスウイルスの7型が1件検出された。

表 2 無菌性髄膜炎の症例別ウイルス検出状況

症例 No.	年齢	材料	検出ウイルス
1	1 歳	咽頭拭い液	エンテロウイルス (CA6 型)
		便	エンテロウイルス (型不明)
		髄液	エンテロウイルス (型不明)
2	6 歳	咽頭拭い液	(－)
		便	(－)
		髄液	ヘルペスウイルス (7 型)

7 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の 2 件について検査を行ったところ、アデノウイルスの D 種 37 型が 2 件検出された。D 種 37 型は流行性角結膜炎の原因となるウイルスである。

月別ウイルス等分離・検出状況（令和6年4月～令和8年7月）

ウイルスの種類		令和6年												令和7年												令和8年															
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
エンテロ	エンテロウイルス 型不明				1				1		2	1	1	6	1						4	4	1	1		1	12	0					1	3	9						13
	コクサッキーA 2型													0													0													0	
	コクサッキーA 4型													0						1	2					3													0		
	コクサッキーA 5型						1							1												0													0		
	コクサッキーA 6型							1						1												0								3	6				9		
	コクサッキーA 9型													0												0													0		
	コクサッキーA 10型													0												0													0		
	コクサッキーA 16型									2	2	2		6												0													0		
	コクサッキーB 5型													0												0													0		
	エコー 3型													0												0													0		
	エコー 5型													0												0													0		
	エコー 6型													0												0													0		
	エコー 11型											1	1	2												0													0		
	エコー 18型													0												0													0		
	エンテロウイルス A71型													0												0													0		
	その他のエンテロウイルス									1				1												0													0		
インフルエンザ	ライノ												0				25	25	24	27	14	24	25	29	17	210	16	23	14	15	25	19	14						126		
	インフルエンザAH3型												0			1									23	22	46	11	2										13		
	インフルエンザA(H1N1)pdm09								1		4	9	14	7	3	1				1				1		13												0			
	インフルエンザB型系統不明													0												0												0			
	インフルエンザB型ピクトリア系統					3							3				1	2	1		1				1	6	2	8	12	1									23		
RS	インフルエンザB型山形系統												0													0												0			
	パラインフルエンザ												0				3	10	19	18	8	8		3	6	75				1	1	1	5					8			
	ムンプス												0													0												0			
	RS-A													0			1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	10	6	1	3	5	1	1	1				18			
	RS-B													0			8	4	2	2	5	9	15	7	5	57	6	2	4	2	3	1						18			
ノロ	A群ロタ												0					1								1												1			
	C群ロタ												0													0												0			
	アストロ				1	1				1			2	5	1				1							2		1			1	1	1					4			
	ノロ GI 型													0												1		1				1						1			
	ノロ GII 型				1			1					2			4	4	5	2							15	2	3	6	13	6	1	1					32			
サボ	サボ 型不明											1	1		2	3	2		1	5	3	4	3			23	1		6				1					8			
	サボ GI 型												0													0											0				
	サボ GV 型												0													0											0				
	アデノ 型不明				1				1	1	1		3	7		1	2	5	3		1	3			2	17											0				
	アデノ 1型													0				1	2	1	1	1	1			7	1					1	2				4				
アデノ	アデノ 2型												0					3								12	3	3	2		2	2	1					13			
	アデノ 3型						1						1											3	3	3	0										0				
	アデノ 4型												0	1											1												0				
	アデノ 5型												0				1	1							2			2	1				1				4				
	アデノ 6型												0				2								2			2				1				1					
	アデノ 7型												0												0											0					
	アデノ 8型								2		1		3	1						1					2											0					
	アデノ 37型					1							1			1			1		1				3								2				2				
	アデノ 40／41型												0							1					1	2	1	1		4	2	1	1				10				
	アデノ 54型												0								4			1		6											0				
	アデノ 56型												0													0											0				
	アデノ 64型												0													0							1				1				
ヘルペス	ヘルペス 3												0			1		1	3						5		1		1	1							3				
	ヘルペス 4												0												0												0				
	ヘルペス 5												0												0												0				
	ヘルペス 6												0												0												0				
	ヘルペス 7									1			1												0							1					1				
その他	バルボウイルスB19												0													0												0			
	A群レンサ球菌									1			1				1	3	6		1	4		5	12	32	7	5	8	7	10	4	1				42				
	黄色ブドウ球菌												0													0											0				
	B 群レンサ球菌												0			2									2												0				
	ヒトメタニューモ												0				12	2	2			1	1																		